

令和6年度 第2回港区区政会議 安心安全・まちづくり部会 議事録

1 日 時 令和6年12月2日（月） 午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員） 対面：上濱委員、北山委員、後藤委員、中西委員

羽東委員、村田（烈）委員、山岸委員

（関係者） 対面：港警察署 谷口氏

WEB：港消防署 牧野氏

（港区役所） 対面：山口区長、磯村副区長、西堂協働まちづくり推進課長

細江エリア開発推進担当課長、五十嵐総合政策担当課長

田中協働まちづくり推進担当課長代理

扇谷安全・安心まちづくり担当課長代理

岡添エリア開発推進担当課長代理

早川エリア開発推進担当課長代理兼教育担当課長代理

4 議 題（1）令和7年度運営方針(案)の策定に向けて

（2）その他

○田中協働まちづくり推進課長代理 皆様こんばんは。定刻より少し早いですが、委員の皆様お揃いですので、ただいまから令和6年度第2回港区区政会議安心安全・まちづくり部会を始めさせていただきます。私は港区役所協働まちづくり推進課の田中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

港区区政会議につきましては、港区区政会議運営要綱第5条の規定によりまして3つの部会を設けておりますが、本部会は、防災防犯まちづくりに関する専門的なご意見をいただくため開催させていただくものです。それでは会議に先立ちまして、山口区長から一言ご挨拶申し上げます。

○山口区長 改めましてこんばんは。平日のお仕事お忙しい中、またいろいろ用事もある中で、この夜に集まっていたいて本当にありがとうございます。本日は、防災防犯地域コミュニティまちづくりについて議論いたします。安心安全・まちづくり部会の令和6年度第2回目の開催となります。委員の皆様からは、令和7年度の運営方針（素案）、次年度の方針についてご意見をいただきたいと思っています。

ちょっとおさらいなんですけども、前回の区政会議では「おもてなし防災プロジェクト」という外国人の観光客の方の、避難誘導に関しての説明であったり、町会の加入促進の話、また港区エリア別活性化プランという弁天町駅、朝潮橋駅、そして大阪港駅という3つのエリアそれぞれの活性化についてのご意見をいただいたところです。もう万博まで日が迫ってまいりまして、「おもてなし防災プロジェクト」についてもあちこちでポスター貼らせてもらっているんですが、それとは別に今日の朝、NHKで、NHKと港区と一緒に作った外国人の方向けの4カ国語かな、避難誘導のポスターについて紹介されました。これもあちこちで見かけると思うんです。いよいよ本当に多国籍の方が増えてきて大阪港駅周辺は、特に増えています。夏にはですね、南海トラフの警戒ということで、ずっと1週間ぐらいね、緊張した状態で過ごしたと思うんですね。そういった情報はなかなか海外から来た方には伝わらないところもありまして、しっかり備えていくということは引き続き、またご意見いただきながら進めていけたらと思っています。町会加入も一応声かけはいろいろしているんですが、また意義というかね。これもやっぱり防災防犯の意義が大変大きいんですけれども、そういったところを理解していただきながら増やしていけたらなというふうに思っています。

今日は限られた時間なんですけれども、是非とも皆様、発言をしていただいているらなご意見をいただいて、また区政運営に活かしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○田中協働まちづくり推進課長代理 本日の出席状況でございますが、委員の定数が9名

のところ、ただいま7名のご出席をいただいております。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例の規定により、定足数2分の1以上を満たしておりますので、本会議が有効に成立していることをご報告申し上げます。

次に、本会議は公開としております。後日、配付資料とともに会議録を公表することとしております。会議録の作成のため録音させていただきますのでご了承くださいとともに、ご発言の際は、マイクをご使用くださいますようお願いいたします。また、会議の様子はインターネット港区YouTubeチャンネルに後日、一定期間掲載する予定です。区政会議の見える化の推進としての全区的な取り組みですので、あわせてご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

ではこの度、任期途中で区政会議委員の解任がありましたため、公募委員の追加募集を行いまして、新規委員が2名となりました。うち1名は、安心安全まちづくり部会にご所属いただくこととなります。本日この場でお名前をご紹介しますので、恐れ入りますがご起立いただきますようお願いいたします。公募委員の上濱真邦様でございます。

○上演委員 上演です。よろしくお願いいたします。

○田中協働まちづくり推進課長代理 ありがとうございます。続きまして、オブザーバーとして参加いただいております、関係先の皆様をご紹介します。港警察署からは谷口様にお越しいただいております。

○谷口警部補 港警察署の谷口です。よろしくお願いいたします。

○田中協働まちづくり推進課長代理 ありがとうございます。港消防署からは牧野様にウェブでご参加いただいております。

続きまして、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

お手元に「本日の次第」「資料一覧表」「安心安全・まちづくり部会委員名簿」「安心安全・まちづくり部会配席図」それとA4横カラー刷りの資料で「令和7年度港区運営方針（案）策定に向けて」以上の資料につきまして本日配付させていただきます。また、先日事務局より事前に送付させていただきました資料につきましても、本日使用いたしまして議事を進めてまいりたいと考えております。皆様、資料はお手元にございますでしょうか。不足等がございましたらおっしゃっていただければと思います。ありがとうございます。では、議事は「次第」の通りでございますが、事前に送付いたしました資料でございます「福祉部会とこども青少年部会からの特にご意見を求めたい内容」にいただきましたご意見につきましては、12月16日開催の、全体会議の前の、資料送付の際に、区役所の対応・考え方を記載して送付させていただきますので、ご確認をよろしくお願いいたします。各

議事の説明は短めにさせていただきます、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまより議事に移ります。ここからは山岸議長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○山岸議長 それでは皆さん、こんばんは。ここからは議長として進行役を務めさせていただきます。皆様から、積極にご意見をいただき活発な議論をしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは早速ですが、議題(1)「令和7年度運営方針(案)の策定に向けて」区役所より説明をお願いします。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい。それでは当日配付資料「令和7年度港区運営方針(案)策定に向けて」をご覧ください。当部会でご意見をいただく部分につきましては、資料4ページ目の経営課題1、ページは右下のほうにちょっと文字小さいですが、ページの右下のほうに番号を振っております。資料4ページ目の経営課題1「区民主体のまちづくり」それから資料の9ページ目の経営課題2「安全・安心・快適なまちづくり」それから少し飛びますが、資料の24ページ目の経営課題5「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」のうちの一部の取組について、ご意見をいただくということになっております。

それではまた戻りまして、資料4ページ目をご覧ください。経営課題1「区民主体のまちづくり」の取組を進めるにあたりまして、課題として、人と人とのつながりの希薄化、地域福祉や防災等の地域課題の多様化、課題解決に住民同士が協力して取り組めるコミュニティづくりの必要性を挙げています。

1枚めくりまして、資料の5ページ目をご覧ください。人と人とのつながりの希薄化の課題解決に向けた具体的取組として、区民まつりなどのコミュニティイベントの開催や多文化共生促進の支援、また高齢者等のICTリテラシー向上の支援を目的としたスマートフォン講座や、港区土地区画整理記念・交流会館での地域コミュニティの醸成に向けた取組の支援など、人と人がつながる機会と場を提供いたします。

資料の6ページ目をご覧ください。地域福祉や防災等の課題の多様化の課題解決に向けた具体的な取組として、地域活動協議会への支援を実施いたします。

続きまして、資料の7ページ目をご覧ください。課題解決に住民同士が協力して取り組める、コミュニティづくりの必要性の課題解決に向けた具体的取組といたしまして、今年の7月に策定いたしました、港区町内会加入促進アクションプランにおける取組や支援を実施いたします。

資料の8ページ目をご覧ください。令和7年度のこれらの取組の進捗度合を測る指標と

いたしまして、本ページの、令和7年度部分に記載の、4つの指標を設定しております。

続きまして、資料の9ページ目をご覧ください。経営課題2「安全・安心・快適なまちづくり」の取組を進めるにあたりまして、課題として、大阪・関西万博を見据えた防災対策の強化、区民の防災意識の向上・地域防災力の強化、区民の犯罪被害の防止、犯罪の発生状況に応じた防犯対策を挙げています。

資料の10ページ目をご覧ください。防災に関する課題解決に向けた具体的取組としまして、地域による、防災訓練の実施や、避難行動要支援者の避難支援の取組の支援、また外国人を含む観光客を対象にした避難誘導、防災啓発として、今年の6月より民間事業者等と連携して取り組んでいる「おもてなし防災」の取組を次年度も進めてまいります。

1枚めくりまして、資料11ページ目をご覧ください。防犯に関する課題解決に向けた具体的取組として、警察や地域等と連携した特殊詐欺や自転車盗防止等の啓発活動、防犯カメラの設置など防犯対策の強化に取り組んでまいります。資料12ページ目をご覧ください。令和7年度のこれらの取組の進捗度合を測る指標といたしまして、本ページの令和7年度部分に記載の、2つの指標を設定しております。

続きまして、経営課題5「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」につきましては、担当課長の細江から説明いたします。

○細江エリア開発推進担当課長 エリア開発推進担当課長の細江です。私のほうからは経営課題5「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」のうち「個性と魅力のあるまちづくり」につきましてご説明いたします。

お手元の資料25ページの、課題解決へ向けた具体的取組①のほうの、港区エリア別活性化プランに基づく、3エリアの中長期的なまちづくりの推進の項目になります。港区につきましては、大阪メトロ中央線が区域の東西を貫く形で走っておりまして、弁天町駅、朝潮橋駅、大阪港駅の3つの駅を中心とした、それぞれ特色のあるまちづくりを推進することとしています。

弁天町駅周辺におきましては、本年4月にまちづくりビジョンを策定いたしまして、特に今、重点的に取り組んでいる事項としましては、市岡商業高校跡地の活用に向けた取組を進めているところでございます。

また、中部エリアになります、朝潮橋駅周辺エリアにつきましては、八幡屋公園を中心としたエリアの魅力づくりを進めておりまして、八幡屋公園での色々な取組、イベントと連携した取組と、やはりこのエリアは少子高齢化へ進んでいるエリアでもありますので、人口増、特に子育て世帯が増えるようなまちづくりを今後も推進したいと考えているところでございます。

また、大阪港駅を中心とした西部ベイエリアの築港・天保山エリアの観光資源の活用として、本年も11月9日・10日と2日間にわたりまして実施しました、天保山まつりであるとか、またクルーズ船の入港をとらえた水辺の魅力づくりを進めているところです。また、このエリアにつきましても、人口減少の課題を抱えているところから、今後特に人口増につながるエリアの活性化、子育て層が増えるような、そういったまちづくりも、中部エリアとともに取り組んでいきたいと考えているところです。これら取組の経営課題に向けた進捗度合につきましても、最後のページ、27ページに令和7年度の指標としましては、イベント等による魅力発信、創造が有効と評価（回答）する参加者の割合を60%以上とするという指標を掲げたいと考えております。説明につきましては以上となります。

○山岸議長 ありがとうございます。それではただいまの説明について、どなたかご意見がございましたら伺いたいと思います。

港区の運営方針案ということで、とてもきれいにまとまっていて納得するばかりで、なかなか意見というのは出しにくいかなと、私も思います。

「なるほどそうか、来年度に向けてこんな感じだな」という形で、納得することばかりなんですけども、内容からは外れるかもしれないですけども、私は三先地域のほうに住んでおりまして、ちょうど11月の24日に避難訓練、避難所体験訓練というのを三先小学校の講堂、新しく建て替えた講堂なんですけども、こちらのほうで住民の方と、コロナ禍が終わって久しぶりに行いました。

安否確認も班長さんにしていただいて、受付に安否確認表を持ってきていただいて、10時から訓練をいろんな体験をしていただいたんですけども、その時に感じましたのは、先ほどもお話しありましたが、中部地域でかなり高齢化が進んでいるのか参加者、安否確認表を持ってきていただいて、若い方たちは「今日はこれから用事がありますから帰ります」ということで帰られる方もいらっしゃいました。積極的に参加していただきました方、ザっとなんですけど50名ほどいらっしゃったんですけども、ほとんどがご高齢の方で、杖つきながらも来ていただいて、でも避難所に、あとでお話し出来たんですけども「来れてよかったわ」ということ「自力で来れてよかったわ」というお話をしていただいたりとか、来てすぐに椅子座って「しんどかったわ」という話をしていただいたり、最後には、実はその時はハンドマイクでさせていただいたんですけども、聞こえにくくて「あんまり聞こえへんかったわ」というようなお話とかをいただきました。私は防災リーダーと、地域とまちづくりの防災防犯部会の部長をやっておりますので、そういうご意見も頂戴できたなと思ひまして、次からは、久しぶりに住民の方全体の避難だったので、そういうこ

とも思いながら、ひょっとすると日曜日の朝というのは、若い方はなかなか若いママさんですとか、若くて働いておられる方は、お休みでゆっくりされたり遊びに行ったりすることがあったかもしれませんけども、日時も考えてしないといけないな。という気づきと、こういうご高齢の方向けにもうちょっと聞こえる、大きな音が必要だなと思ったりとか、そういう久しぶりにやった立場としては色んな事、声を聴かせていただいて、アンケートもとったんですけども良かったなと思いました。もちろん消防の方にも来ていただきまして、水消火器あと AED の体験もしていただきました。今日ご参加の牧野さんに、色々力をお借りしたんですけども、やっぱり見てするばかりではなくて「自分で色々実際にやってみて良かった」っていうそういうお声「消火器触れて良かったわ」というそういうお声も聴けたので良かったかなと自分では思ってます。そういう町会、それは入っていても入っていなくてもご参加できるんですけども、入っていると余計に「いろんなことを言っているのかな」とか「来週あるんやったっけ」ってそういう話をお互いにしやすかったから、そういう意味では、町会に入って周りの方と気楽に話せる、そういう風な環境というのは、あった方がいいのかなというのも思いました。

皆様もだいぶ 11 月になってきましたら、ひょっとするとこれから、そういう避難訓練等あるかもしれませんけども「あって良かったわあ」とか「こんな風にあつたらうちの地域良かったかな」とかいろんなご感想も、こちらの運営方針からは外れるかもしれませんが、どんなことでも本当にこんな事でも結構ですので、ご意見伺えたら嬉しいなと思ってます。いかがでしょうか。

○北山委員 すみません、北山です。お話しありがとうございました。そうですね、防災の事で避難訓練ですとか、なかなか町会などの繋がりというのも、私自身も地域で仕事していながら「繋がりが薄いな」というのも感じておるところでして、防災のところで避難訓練というところを、コンスタントにみんなで参加して、備えていきたいなという風にすごく考えているんですけども、そういった避難訓練がどこどこでありますよ。という情報が、もっと簡単にというか、コンスタントにしっかりと把握できればいいのかなと思っております。

もちろん自分たちから、積極的に町会を活用したりとか、いろんなところのホームページですとか、チェックして情報を取りに行くという事も大切なんですけども、なかなかそこまで皆さん意識しておられる・いないに関わらず、簡単に入ってくるような仕組みというのがあれば、すごくみんなで考えるベースになるのかなと思ってお話を聞いていました。あとですね、避難訓練ももちろんすごく大切なんですけども、福祉避難所の開設というところも、非常に私も色々勉強したいというか、皆さんで考えていきたいという所で

して、取組ですね。

ページでいうと10ページの、地域防災力の強化ということで、要支援者の方の避難と支援ということで、取組をご支援していただいているということで、拝見させていただいております。それに向けてみんなで逃げた後ですね、福祉避難所等々だけに関わらず、その避難所のところでの、皆さんでどう過ごしていくかといったところも非常に大切だなというところで、地域でも話をしておりまして、どうでしょうか。山岸議員。お話をさせていただいたところで実際に、皆さんの声として、例えば高齢の方もそうですけれども、障がいのある方ですとか、小さいお子さんとか過ごすような環境としてどんな感じがありましたか。

○山岸議長 ご質問ありがとうございます。恥ずかしながら、まだそこまでは深くは出来上がってはいないんですけども、場所として小学校に皆さん来ていただきました時に、家族さん単位でお部屋とかそういうところ、一般的な避難所なんですけども、そういう形では入っていただこうとは思っているんですけども、比較的、お手洗いの関係でご高齢の方は下の階で、そういう所までは考えているんですけども、まだ実際のところはそこから先までは、考えていることができてないところです。あともう1つ、施設の方から「日曜日の避難訓練は、参加できないんです、うちの施設はお休みで。だから一度平日で出来たらやっていただけたら嬉しいな」というお声は、実は聴いています。

なので、もうちょっといろんな形で出来るようにこれから先、平日で、こうするとお手伝いしていただく方が難しいかもしれないですけども、避難訓練、そういう形ではそういうのも必要なと思っています。ありがとうございます。

○北山委員 ありがとうございます。12ページに記載いただいている、是非この避難所のことに向けての令和7年度の指標として、「防災訓練等の防災活動の実施・全地域」と記載いただいていますので、その辺、もしなにか教えていただけることがあれば、教えていただきたいなと思っております。ずっと喋りっぱなしで申し訳ないんですけども、もう1つだけこれ以外にお話しさせていただけたらと思っております、ページで申し上げますと、24ページの経営課題5のところです。先ほどの防災の方からは少しだけずれてしまうかもしれないんですが、大阪・関西万博による人の流れを港区の恒常的にぎわいにつなげるというところですが、かなり盛り上がりを見せていくんだらうなというふうに思っているんですけども、それと並走して、この港区で生活している方々のルートといいますか、生活動線をしっかりと保障というか確保していくというところも、恒常的にぎわいにつなげるのであれば、尚更必要なのではないかなと思っています。実際に高齢者の方、障がいのある方、お子さんですね。ここに住んでいる皆さんがもちろん

お仕事に行かれる方も含めて港区に住んでいる方が遠い所に行く、遠い所から港区の方に通って来られる、この交通の動線をどんなふうに確保、保障していただくプランなのかなというところも今回お伺いしたい1つとして、お話をさせていただきました。ありがとうございます。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい。ご質問ありがとうございます。まず防災関係なんですけれども、12 ページの令和7年度の指標ですね。「防災学習会、防災訓練等の防災活動の実施：全地域」ということで、先ほど北山委員の方からも、実際どの地域でいつ、その防災訓練をやっているのかといった情報がなかなか掴みにくいといったご質問だったかと思います。区役所の方でいきますと逐一、地域で実施する防災訓練の日時がわかれば、ホームページを更新させていただいたりですとか、地域の方で色々工夫をされて、これも地域の方でなかなか防災学習会、防災訓練に地域の人が参加していただけないといった、それも地域の方でも課題を持っておられまして、地域によっては、地域の中で地域向けの防災訓練のチラシを作られて、地域の掲示板に掲示をされたりですとか、そういった取組をされているといった地域もございました。具体的にですね、こちらの実施した後での、こういう事をやりましたというような、事後報告的なものをXであげさせていただいたりですとか、もし具体的にいついつというのをダイレクトに北山さんの方ないしは事業所さんの組織の方でキャッチをしておきたいということであれば、個別で更新のタイミングで、お知らせする等、そういうことをまた取組をさせていただければというふうに思っております。

○細江エリア開発推進担当課長 もう1つ万博開催中の移動の保障、交通の問題のご質問だったかと思うんですけれども、万博協会から大阪メトロ中央線の乗車抑制というのを港区民含めて沿線の企業の皆さんにも呼びかけしているところですが、区役所が交通事業者といいですか、例えばバスの運行とかを行うのは、できないかなと思っているんですけれども、期間限定ですけれども、大阪メトロが万博会期中に区内移動の保障として、オンデマンドバスの運行を予定されていまして、詳細が分かるのは年明けにはなってくるかと思うんですけれども、1つはそこが中央線の代替になるかなと考えているところです。あともう1つは実際に万博が始まった時に、中央線と環状線の乗り換えの地点となる弁天町駅は大変多くの利用客が見込まれますが、特に区民の人たちが非常に不便を感じるような場面が具体的に生じることになれば、万博協会であるとか大阪メトロとかの交通事業者に対策を行うよう区としても働きかけをしていくとか、区民への情報提供に努めるとかその状況に応じて出来ることはしていきたいと思っていますので、またご不便な事があれば是非区役所の方にもそういった情報をいただきながら、一緒に取り組んでいけたらと思います。

す。

○西堂協働まちづくり推進課長 すいません。福祉避難所の件のご質問があったかと思えます。さきほど山岸委員からもお答えありましたけれども、訓練の日と実際に福祉避難所の事業者様の活動のタイミングが合わないということで、ミスマッチがあったりというところもあるんですけれども、その辺また情報提供させていただきながら、なるべく高齢者ですとか障がい者の方の避難というのは、非常に大きな課題と捉えておりますので、なるべく地域と福祉避難所というところがちょっとマッチングできるような形で、区役所もなにかしら出来る事があれば取り組んでいきたいというふうに思っております。

○北山委員 ありがとうございます。

○山岸議長 他にどなたか。どんなことでも結構です。私も今お話聞きながら、「そういえば避難訓練の前に防災学習会というのをした」と思い出しまして、それは10月24日だったんですけれども、憩の家でしたので、結構しかも平日の2時からと夜の7時半からとしましたので、色んな形で参加者もそんなにたくさんではなかったんですけれども、結構高齢者の方も座って落ち着いて聞いていただけたかと思います。その時に施設の方も来ていただいて、色々話聞いていただいたり、私とこうやって話をすることも出来ましたので、そういうのはよかったかなと思います。うちの地域はチラシを配ったりとか、こちらの広報の掲示板を使って皆さんにお知らせしたりとかはさせていただきました。

他に。私の話ばかりで申し訳ないです。よかったらお話していただいてよろしいですか。

○羽東委員 すいません。羽東と申します。よろしく願いいたします。防災、防犯の事で盛り上がってらっしゃったんですけど、この間、健康フェスタというのが交流センターであって、健康フェスタという題の通り、高齢の方が自分たちの事を気になさって参加なさっていたようなんですけど、私もアンケートを取りにいった、それでそのアンケートいただいた後に粗品を渡すというそういう設定場面でお手伝いさせていただいたんですけれども、250ほど用意したものが、ほとんどはけていくほど人が右往左往していたんです。ですので時間内の中で全員がその時間にいたということではないですけれども、エレベーターを使うことのみに注視する方が多いので、その時のことを昼間ですけれども、災害、地震なにか警告があった時は、たぶんこの方々が誘導してくださって、エレベーターが止まったとしてもそれぞれの箇所にボランティアの方もいらっしゃいましたので、やってくさるんだろうなとふとよぎっただけなんですけど、それはちゃんとしているんだという安心の下で普通にお手伝いさせてもらいました。こういう会議に出ることなので防災の事1個1個常に頭にくるので、たくさんの人が集まった場所にそういう場にいたので、ち

よっと考えたというか、そちらの方は誘導はちゃんと出来るように、それぞれがあちらの方が訓練してくださっているのだと確実に思っておりますけど。それとやっぱりそれに関連して、町会への勧誘等は、結局役所関係の情報はそれぞれが出来るんですよ。町会関係なく。ですのでやっぱりこの防災は常にニュース等で刷り込まれていますので、そちら方面の「ここに入れば、隣近所で知り合えば安堵感、安心感、小さい子ども大丈夫よ」というような、そういう事を糸口にして入り込む、改善していただく、それぐらいじゃないと皆さんがもう、生活を有意義に過ごしてらっしゃるので、自分たちの生活、町会、うんぬんの良し悪しが、全然ないと思うんです、若い世代にとっては。「身の安全1番、子育て中の人や子どもの事をそういう事を考えてどうですか」と「町会入ったらどうですか」という何かあれば良いかなとそこら辺からかなという、全然場違い、筋違いかもしれませんが、そちらの方がたぶん皆さんが目を向けてくださる、心を開けてくださるんじゃないかなとそれだけです。それなので地域で防災、それは必ずものすごく広範囲に出来る限り、皆さんが全然地域限らず全ての地区が流動的に参加出来たり、地下でどうなったりとか、常に止まらずにそれは続けていかないといけないのじゃないかなと思って、防災の教室でもなんでも、そういう事は役所がするんじゃなくてやっぱり地活の力を持って、どんどん入り込んでいって勉強会を進めていって、ちょっとでもしていくとどこからか情報が流れて行って、こんな大切な事していたよとか絶対勝手に流れていくんですよ。やっぱり続けていくと。だからそういうことが大事かなと。続けていって人が少なくても、なにがあってもやっていきましょうという。

○山岸議長 ありがとうございます。そう言われるととても勇気づけられます。ありがとうございます。

確かに、例えば11月24日は行けないけど、他の地域でされている、その日にちやっただけで行けるという場合もあるかも知れませんのでね。本当にその地域で、いろいろ私はこの人を助ける役とかここ炊き出しする役とか、そういう風に決まっている、そういう訓練の時はちょっと参加しにくいかも知れませんが、学習会的なものは本当に地域を問わず日にちが合えば行けたら良いかなというのはすごく思います。ありがとうございます。

それでは、男性の方もよかったですらいろいろご意見伺わさせていただいたら嬉しいと思います。どうしても私たち生活ですとか、あと住んでいる所の地域の自分のご近所の話、たくさん話をさせていただいたんですけども。

ありがとうございます。では、上濱さんお願いします。

○上濱委員 はい、上濱と申します。初めての参加で、どのようなサポートか分からないんですね、ちょっと失礼な話になるかも知れませんがすみません。

お話を聞きましておりましてですね、防災訓練の通知というか広報が広く届いてないだろうという話を聞いておりまして広報のやり方も、プッシュ型とプル型とこの2つあるかと思います。ホームページを更新しました。っていうのは、市民がそのホームページをまず、わざわざ見に行かなあかんという事で引いた広報戦略かなと思います。ただ一方で、毎月いただいている広報紙、ポストに入っております、あれはプッシュ型という形で情報の押しつけ、そういうこの2つかなという風に私は思っています。

防災訓練とかっていうやつですね、日々、毎年やられる恒例のですね、イベント的なものですね、ホームページに更新しました。だけではなく、やはり情報の押しつけといったらちょっと言い方悪いですけど、市民一人一人の皆様に情報を届ける、直接届けるっていうのが必要なんじゃないかなと思っています。

私はほんまに残業残業ばかりで平日は、ほぼほぼ会社と家との往復になるので、そのポストに入っている広報誌はとてめえありがたいなという風に思っているんですけども、1つ考えているのはですね、夜中まで開いているコンビニだとかスーパーとか、外の掲示板だとか窓を借りて、そこに区役所からのお知らせ、地域活動協議会からのお知らせみたいなものがあれば、ちょっとチラッと見るかなというふうに思ったりしました。

それと、話ずっと続きまして、人と人が繋がる機会の場の提供の所ではありますが、私の会社のほうで、ただの会社なんですけども、地域のですね、地域と一緒に仕事をしようという取組がありまして、大阪市内のですね、障害者施設B型作業所とかですね、あとはNPO法人で、お子さんが本当にいじめだとかで、学校にもう通えない子が集まるフリースクールみたいな所がありまして、その子と一緒にお仕事させてもらった事があります。だから具体的にいえば弊社の会社のですね、本当に単純作業、それを金銭を払って請け負ってもらったというような事がありました。それをやった結果ですね、反応を聞きますと、作業所の方々とか、NPO 法人の方がすごく喜んでいただいてですね、お子さんも障がい者の方も、何かに貢献出来たとプロジェクトに参加出来たという、参加した、何ていうんですかね、達成感みたいなのを得たらしくてですね、そういう事を考えるとそういう感じもあるのか、もちろんお金もお支払いはしたんですけども、それにプラスアルファの影響、好印象、好影響だったなという風に思いました。

ですので、この機会の場の提供という事でイベントやりました、お客さんとして来て下さい。というのも大事ですが、区役所、港区とその地域の企業なんか、住民の方々と一緒に何かプロジェクトをやる。お金を払うっていうのはちょっと難しいかも知れないですけど、ボランティアでやってもらう。それで港区としてなにかを達成するでつかいプロジェクトみたいなのが、まあそういう参加型のやつがあったらいいんじゃないかなという風に

思いました。

最後ですけども、防犯・防災対策のこちらを拝見してましてですね、ソフト面ばかりの事かなと思ひまして、何かハードで解決していくという所が、もうやってるなって話だったらそれでいいですけど、これからハードを充実させていくという事があるんでしたら、ちょっとお聞きしたいなという風に思いました。

例えば、みなと通の南側の住宅街はすごく薄暗いんですよね、街灯が少ない。あとみなと通の歩道にずーっと放置している大量の放置自転車、ああいうところは解決されたほうがいいんじゃないかなという風に思っております。

はい、以上になります。

○山岸議長 ありがとうございます。区役所のほういかがでしょうか。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい、ご質問ありがとうございます。はい、先程の防災訓練の広報の点で色々ご指摘をいただきまして、ありがとうございます。確かにホームページに載せたりですとか、X に掲載したっていう、それを見れない環境の方が本当にたくさんいらっしゃると思いますので、そういう方にどう伝えていくのか、これ防災訓練とかだけではなくて、この様々の情報に言える事かと思ひますので、その辺はまたどういう形でっていうのは、内部で検討させていただければというふうに思ひます。

それから機会の場の提供につきましては、じつは区民まつりにつきましては、区民まつりを始め文化のつどいですとか、さまざまなコミュニティイベントっていうのは、区民の方に公募という形で、実行委員会の委員の方を募集させていただいておひまして、そういう方たちと一緒に企画をして作り上げているといった、そういう内容になっております。その委員の方に当日、運営を手伝っていただいたりですとか、これは無償にはなっているんですけども。一緒に行政と地域の方、また区民の方と、こういったイベントを作り上げてコミュニティづくりをしているといった、こういった例も実際にございます。

それから防犯のハードの部分なんですけれども、確かに防犯カメラの設置という所ですとか、あとこれ地域のほうにはなるんですけど、街路防犯灯という、これ建設局のほうで実施している事業なんですけれども、地域のほうから要請があればですね、街路防犯灯を設置して、そういった防犯対策をやっているといったそういうケースもございます。確かに港区は放置自転車、本当に中央線沿いの所に放置自転車がたくさんあるような地域で、その点につきましては、また建設局と連携しながらですね、対策をとっていきたいというふうに思ひしております。

はい、私のほうからは以上です。

○山口区長 情報発信は常に悩みでして、あの広報紙、ホームページ、SNS は基本的には

Twitter、Xを使っているんです。あと一応プッシュ型でLINEもやってはいるんです。今日色々お伺いしていて、やっぱり防災訓練の情報とかも1回ぐらい流したいとか、まとめてですね、決まったものを流すとか。あとさっきヒントをいただいたんですけど、学習会は地域問わず参加出来るようにするっていうのは、地域の方の了解があれば出来るかなと思ったので、そういった呼びかけをしてみて「うちは良いよ、来てくれても」っていう所があれば、確かに「この日は行けないけど、こっちの地域のやったら行けるわ」っていうのも出来たら良いなあというふうに思いました。本当にたくさんのヒントをありがとうございます。

あと、コンビニに貼るっていうのも、ちょっとしたお願いみたいな事は今までも、大阪市と協定を結んでるコンビニチェーンもありますので、やってもらっている面もあるんですが、地域ごとの情報を貼ってもらうっていう事になると、地域からお願い、地域とコンビニが仲良くなってくたうっていうのが良いのかな。地域のいわゆる運営側の皆さんが、貼りたい情報をお願いして貼ってもらう、自分のとこの地元のコンビニに貼ってもらうっていうのが、良いんだろうなと思っていますので、ちょっとそういった事例がないとか、働きかけの仕方とか、考えてみたいなあというふうに思います。あれもコンビニもオーナーが経営しているやつ、フランチャイズの分と直営のやつで対応が違ったりしているので、そのいただいた意見を参考にして調べてみたいなと思っています。

あとですね、本当に私も区民の人が主役である街であって欲しいし、もうどんな形であれ自分らが参加したっていうか、自分たちが街つくっているっていうふうに思って欲しいんです。実はもう、やっぱり昔から住んでいて、ずっとPTAから色んな活動して来た地域の方々には、すごいそこ誇りを持ってはって、自分らの街は自分たちでつくるんだっていう意識があるんですけど、やっぱり若い世代、どうしても本当に家と会社の往復でそんな余裕もないし、迂闊に近づいたら、「色々な役が来たら大変だ」、みたいな思いもない事もないだろうしっていうとこで、ここは大きな課題意識を持っているところです。

例えば「おもてなし防災」も誰にでも出来る、本当に近くにいる外国の人たちが右往左往していたら、「自分の身を守った上で声かけてね」という事は、大前提として、「自分の身の守り方皆さんご存じですか。ここ津波来ますよ」という事を伝えるためにやっている。それも1つの市民参画かなと思っていますし。

あと来年度、万博と同時にですね、区制100周年という港区が出来て100年になります。そのお祝いの年でもありますので、それを皆さんと一緒に盛り上げたいなというふうに思っています。弁天小学校から子供たちが、港区盛り上げるのにスタンプラリーやったらどうやみたいな提案とかもあったりして、港区でも「シティロゲイニング」というスポーツ

イベントがつい先日あったんですけど、港区内のいろんなスポットを巡るスポーツイベントをやっていますので、これを上手い事組み合わせ、本当に区民のほとんどがやるぞって参加したくなるような、それもボランティアだとか運営側でも参加したくなるような、そんな機会がつかれたらなというふうには、一生懸命担当とかも色々考えてくれていると思いますので、それもまた周知が届くように努めたいと思います。よろしくお願いします。

○山岸議長 気が付けば結構時間が来ていました。私も少し話し過ぎました。ありがとうございました。

続いて、議題（１）が終わりました。次、議題（１）の続きもごさいますので、皆さんほかにもし、今のこちらのほうの運営方針「令和７年度港区運営方針（案）策定に向けて」についてさらにご意見ないようでしたら、次のほうに進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。では、続いてお願いします。

○細江エリア開発推進担当課長 シティロゲイニングの報告になるんですけどね、すみません。私も進行が分かっていなくて申し訳ありません。こちらのほうは、つい30日の土曜日ですね。主催となりますのが、みなと OSAKA スポーツコミッションということで、事務局が八幡屋公園の指定管理をしています大阪スポーツみどり財団というところが、主となっていていろんな企画をして区役所であるとか社会福祉局協議会であるとか、区民センターなどを運営していますコミュニティ協会が主要なメンバーとして、港区をスポーツ、緑で盛り上げていこう。というコンセプトでやってきているんですけども、このロゲイニングの大会につきましては、港区の色々なまちの資源をですね、巡っていただいて、少し競技性のあるといいますか、位置づけとしては競技会ということで、港区全域に色々なスポットを回るとして得点を稼ぐといいますか、カウントする、重ねていくというかね。そういうことで、いちばん得点とった人が、優勝ですね。そんな感じで、副区長が第3位ということで、かなり絶えず3時間の競技時間中、ほぼほぼ走っていたと思われませんが、本当に競技で頑張る人もいれば、観光巡り、ゆったりとお昼ご飯もどっかで食べながら、区内をゆっくり楽しむこともできるっていう、割と幅広い参加の仕方ができるイベントかなと考えています。このロゲイニングの大会も、また来年の万博の時はもうちょっと、また企画もブラッシュアップして、あの区長も申したようにいろんな人が参加できる、障がいのある方も参加できるような、そういうような多様な関わり方ができる非常に良い企画、良いイベントかなと考えていますので、ちょっとこの周知もなかなかできていなくて「知らなかったわ」というお声も、やっぱりちょっとどうしても出て、聞こえてくるとこもあるのですが、そういったところ、区民参加型で色々な人が万博の年、区制100周年の年、このロゲイニング大会で盛り上げるようなこともできたらなと考えているところで、またご意見

ぜひいただけるのなら、皆で一緒につくっていけるような、そんな大会に育てていけたらなと思っていますので。すみません、こういう説明でよろしかったかどうか分からないのですが、以上です。はい、よろしくお願いいたします。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい、もう1つですね（資料 E-2）ですが「港区つながる見本市（チラシ）」ということで、これにつきましては、今月の15日の日曜日お昼13時からですが、港区民ホールのほうで開催をいたします。第1部のほうではですね、協力各所による住みやすい地域社会づくりに向けた情報共有ということで、まちづくりセンターですとか、大阪スポーツみどり財団、港区社会福祉協議会の担当者の方から、色々ちょっと情報共有をいただくそういう場面をもっております。こういった話を受けて、次にシンポジウムということで「港区のええとこ教えて」ということで、ここにつきましては山口区長にもご登壇いただいて、第1部でお話いただいた方とですね、港区のええとこについて、色々話しをするという、そういうシンポジウムを開催いたします。最後第2部ですね、ポスターセッションということで、これにつきましては、各地域のほうから、ちょっと発表者の方をお願いしまして、ポスターにまとめて、いろんな地域の行事ですとか、活動を発表していただいて、会場にいらっしゃった皆様方とですね、自由に質問や意見交換をしながら、そういう場면을ポスターセッションということで、開催をさせていただきます。参加無料となっておりますので、ちょっとお申し込みのフォーム、右下のQRコードに書いてますけれども、ご参加いただける場合はこのフォームからお申し込みいただいて、15日 日曜日の13時から区民センターで開催しますので、是非ご参加いただければというように思っております。はい、説明は以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。では今の、どちらかというとまちづくりの活性化のほうですね、100周年のことでも結構ですし、ロゲイニングのことでもつながる見本市のことでも結構です。何かご意見ございましたら、是非伺いたいと思うんですが。村田さんいかがでしょうか。

○村田委員 僕、いや、いや、僕はいいです。

○山岸議長 ぜひぜひ。何か。確かに先ほどロゲイニングのことも、活気のあるまちづくりのこともなかにね、色々お話していただけたかと思います。話しも伺えたかと思います。もうすでに区民ホールでね、色々なことをされているので、そういう催しに参加された方もいらっしゃって良いかなと思います。

特になければ、ちょっとまた私事でなんなんですけども、11月の15日に、私ちょっと、旅行のほうに行っていて、その間に、ちょうど木曜日の日、ごみ出しがありまして。よくカラスにごみを突かれるところでもありますので、ご近所の方に、ごみネット一緒に

出している方に「悪いけど、私ちょっと家空けるから、ごみネット出したり引っ込めたりするのやっといてね」という話しを、同じ町会の方、お隣の方にしたんですけども、それも一つの、ごみ出しなんですけど防犯かなと実は思いました。いろんな強盗とかね、港区はそんな大きなことではないですけども、お隣の方に「家空けるんです」って人に言うのってすごい怖いことなんですけど、でも見といてほしいという時に、ごみネットの、カラスのごみネットで、お隣の方にそういうお話しをして、することができて、それはちょっと自分でも良かったかなと思ってるんです。今日あのせつかく、港区の警察の方が来られていますので、そういう港区の怖い犯罪、今年度どんな感じだったかなっていうのをまだ11月ですけども、お話し伺えたら嬉しいなと思います。いかがでしょうか。

○谷口警部補 港区警察署の谷口です。怖い話というか、犯罪としてやっぱり多いのは特殊詐欺が多いかなと思います。そういった、特殊詐欺に起因した、あの電話とかもいっぱいかかっているのですが、今日ついさっき、安まちメールでも流したんですけども、実際に高齢者の家に男の人がやってきて、警察官を騙って、隣人が捕まったのでキャッシュカードを受け取りにきました。っていう内容で、そういった訪問とかも実際にあります。やっぱ警察官を騙ってこう、来られたらやっぱり信用してしまっ、実際にキャッシュカードを渡す、暗証番号を渡してしまうっていうので、被害に遭ってしまうっていうことも、ついもう近々であったっていう内容、そういった悪い奴が実際に家に訪問してくるっていうこともあるので、そういった時に周りの地域の方と、隣の方でも仲良くしておけば、防犯の向上には繋がるのかなっていうのでやっぱり、地域とか周りの方との連携っていうのを非常に必要なかなと思います。以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。だいたいお時間もきてるところなんですけども、今日もうお一方の、牧野さんに消防のほうの方にも、もし今までのことで何か、お気づきのことあったらお話しいただければ嬉しいですけども。

○港消防署 牧野消防司令 (チャット) 区役所・消防署、連携を強くしてがんばりましょう。

○山岸議長 ばっちり聞こえています。ありがとうございます。ありがとうございました。他に今までのことどんなことでも結構なんですけども、何か気づかれたこととか、是非これは区役所の方から、お返事いただきたいなということがありましたら、お手を挙げて発言していただいても結構です。もし、特にないようでしたら、今日お時間も近づいてきましたし、いかがでしょうかね。本当は時間関係なくせつかくここにね、あの来ていただいたので、聞きたいこととか、自分はこんなこと思っているっていうことをどんなことでも結構ですので、そこがまた、いろんな事を発見する糸口になるのではないかと私は思って

おります。ですけど無理強いもなんなので、特にならうでしたら、時間のほうもまいりましたので、私からはこの辺でマイクをお返ししたいと思います。

それではお時間もまいったようですので、本日は皆様のご協力をもちまして、スムーズに会議の運営ができました。これからも、区民の意見やニーズを区政に反映していくために、区政会議のほうの運営にご協力を是非、これからもよろしくお願いします。それでは、進行を区役所さんのほうに返したいと思います。

○田中協働まちづくり推進課長代理 山岸議長、議事進行ありがとうございました。委員関係者の皆様、円滑な会議運営にご協力をいただきまして、ありがとうございました。また追加のご意見ですとか、ご質問などございましたら、全体会議の際にも承りますので、どうぞよろしくお願いいたします。そして委員の皆様には、すでにご案内申し上げておりますように、12月16日月曜日 午後19時より、同じくこの場所におきまして、港区区政会議全体会を開催いたします。お忙しいところ恐縮ですが、ご出席くださいますようお願いいたします。なお、本日使用いたしました資料につきましては、全体会でも使用いたしますので、お手数ですがご持参いただきますよう、よろしくお願いいたします。それではこれもちまして、令和6年度 第2回港区区政会議 安心安全・まちづくり部会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。